

園長が交代しました

竹村園長退任のご挨拶

令和3年3月をもちまして、45年間勤務した松本児童園を退職いたしました。

世の変化につれ、児童養護の在り方や子どもたちも様変わりしましたが、松本児童園に寄せられる善意の支援は変わりなく続いております。

皆様方のますますのご健勝、ご活躍を祈念し、退任のあいさついたします。

竹村 潤



一柳新園長就任のご挨拶

令和3年4月より松本児童園園長に就任いたしました。

私にとっては身に余る重責ではございますが、32年間の経験を活かし、精一杯の努力をしております。

松本児童園は、これからの社会的要望に職員一同応えるべく、一層の努力をしておりますので変わらぬご理解とご支援をお願いいたします。

一柳 明美



新年度スタート

3月に高校3年生7名が児童園を旅立ちました。進学2名、就職3名、その他2名です。職員と何度も進路の話し合いを重ね、それぞれの進む道へ旅立っていきました。自分の決めた道で前を向いて進んでいってくれることを願っています。

そして、この4月、新たに3名の職員を迎え、新年度がスタートしました。今年度は、定員を40名から36名に減らしました。本体施設で30名、地域小規模児童養護施設で6名生活できます。今年度は、31名でスタートしました。

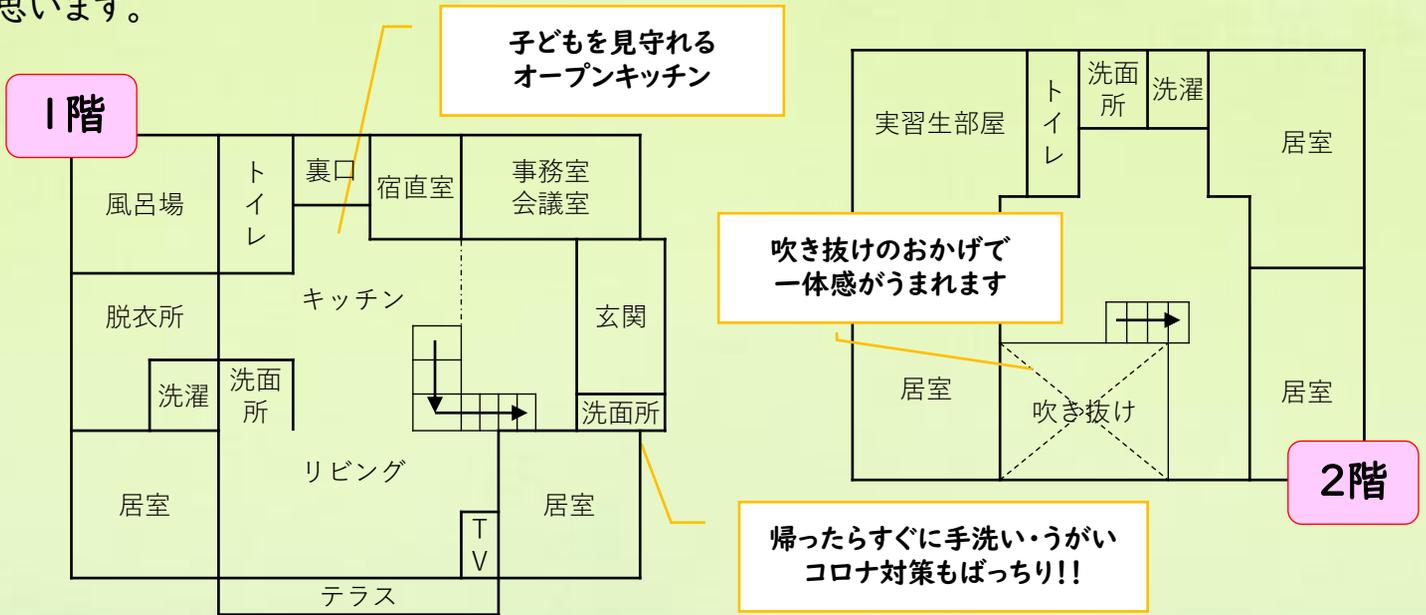
地域小規模児童養護施設を開設したこともあり、職員体制も子どもの生活グループも大きく変わりました。今年度から、本体施設は1階フロアで男の子、2階フロアで女の子が生活します。各フロアで年長児と年少児の2つの生活グループを作り、計4グループに分かれての生活です。各フロアにグループホームを1つずつ持ち、家庭的な雰囲気の中で生活できるよう意識しました。また、幅広い年齢層の子どもたちが同じフロアで生活するため娯楽室を複数用意し、みんなが安心して生活できる環境づくりに配慮しました。

3月下旬から新しい生活グループでの生活が始まっています。生活環境が大きく変わり、なかなか落ち着かない新年度のスタートとなりました。早く子どもたちが安心して生活できるよう、日々の生活の保障、その中で子どもたちとの関係づくりに努めていきたいと思っております。今年度もよろしくお願いいたします。



地域小規模児童養護施設 開設

地域小規模児童養護施設を開設しました。
 施設名は「松本児童園ぽぷらの木」です。
 小学校1年生から高校1年生までの女の子6名が
 生活します。完成した施設を見て、「本当のお家みたい!」と大喜びの子どもたち。そんな子どもたちの姿
 を見て、職員もこれからの生活に胸を弾ませました。
 職員はまだ手探りの状態ですが、この恵まれた環境
 の中で、子どもたちとどんな生活を送りたいか一緒に
 考えていきたいです。
 地域の中で子どもたちが育つことの醍醐味を感じな
 がら、「松本児童園ぽぷらの木」を育てていきたい
 と思います。



素敵なお家を作って
くれてありがとう!!



“いつでもどこでもだれにでも
ふあいんふあいんふあいん”

~いつもご機嫌ですごせますように!
 そして、ぽぷらの木のようにまっすぐ
 すくすくと育っていきますように!~